

# 頑張れ！設備屋さん

平成二十年 五月二十五日  
金子商会はお客様に「三ツゼロ」を提案  
・在庫コスト ゼロ  
・現場待ち時間 ゼロ  
・現場の不満 ゼロ

## 金子商会ニユース改め「頑張れ設備屋さん」に

金子商会ニユースも今年で5年目です。会社の決算が5月末で、当社の新規年度が6月からなので、それに合わせて、「頑張れ！設備屋さん」というタイトルでより濃い隙間情報をお届けしていきます。

この「金子商会ニユース」というニユースは、金子商会からお客様さまに対して伝えたいこと、お客様さまに知っておいて欲しいこと、おトクな役立つ情報などを発信していくために毎月書いています。（そのつもりでやっております。）

さて、金子商会のモットーは「快適な暮らしは快適な現場作業から始まる」ということになっています。建築偽装の問題などいろいろあることが出てきている世の中ですが、これらはすべて下請けの構造や劣悪な現場作業から生まれていると、金子商会は考えます。適正な利益があり、また現場作業が快適に行われることによって、よい仕事ができるようになる。それが、良い住環境を作り出すことができる。金子商会は確信しております。

お客様であるこの設備店さまの作業環境が快適で活力があり、元気いっぱい、さらに効率が高くなることで、住環境がよくなる、ひいては社会全体がよくなる、と確信しております。それは金子商会のまさしく信念でありお客様にもご理解いただけると思っております。

**「頑張れ設備屋さん」の目的**  
設備工事店様がより効率よく快適に現場作業が行えるための情報をお届けする。「読んで得した」と感じていただくといいです。

**「頑張れ設備屋さん」が伝えること**  
お客様が快適で効率よく現場作業を行っていただけるような情報を発信し

**営業時間 祭日も営業中！**  
月曜日～土曜日 朝八時～夕方五時  
祭日 朝八時～十二時  
(祭日の配達業務は行っておりません)  
日曜日は休業日とさせていただきます。

ます。お客様にとって興味があるけれども知らないことなどをお知らせします。これからも宜しくお願ひします。

### 知っているようで知らない、小口径マスの呼び名

小口径マスの種類がたくさんあります。基本的な品番と商品名について解説します。まずはストリートマス（1）。排水距離が長くなるときに中間に配置するマスになります。下の写真



次によく注意いただくのは、四



のものになります。次は四十五度曲がり（2）上側の写真になります。次の写真（左）は90度合流、90度Tとか90度Yと呼ばれる。YとTを間違っている人も多いため、気をつけなければいけません。金子商会ではTの小口径マスといえはこの90度合流を示します。

### 古典から学ぶ仕事術 その二

『孫子曰く「凡そ用兵の法は、国を全うするを」とし、国を破るはこれに次ぐ。』  
『孫子曰く「凡そ用兵の法は、軍を全うするを」とし、軍を破るはこれに次ぐ。』  
『孫子曰く「凡そ用兵の法は、旅を全うするを」とし、旅を破るはこれに次ぐ。』

卒を全うするを」とし、卒を破るはこれに次ぐ。伍を全うするを」とし、伍を破るはこれに次ぐ。是の故に百戦百勝は善の善なる者に非ざるなり。戦わずして人の兵を屈するは、善の善なる者なり。

およそ軍事力を用いる原則としては、敵国を保全したまま勝つのが最上の策で、敵軍団を撃破して勝つのは次善の策です。敵の旅団（五百人）を保全したまま勝つのが最上の策で、敵の旅団を撃破して勝つのは次善の策です。敵の大隊（百人）を保全したまま勝つのが最上の策で、敵の大隊を撃破して勝つのは次善の策です。敵の小隊（五人）を保全したまま勝つのが最上の策で、敵の小隊を撃破して勝つのは次善の策です。したがって、百度戦闘して百度勝利を収めるのは、最善の方策ではありません。戦わずに敵の軍事力を屈服させることこそ最善の方策なのです。と、孫子は書いています。

今の日本の地方都市を見てみると、東京資本の大型店舗が地域の小さな店や商店街を駆逐していつてます。これはあまりよくないのではないかと思います。

今の時代、大きな会社や国家が一人勝ち状態になるような方向へ向っているように見えます。しかしそれは長い目で見ると、全体としての豊かさを失わせる方向へ向っていくのではないのでしょうか？昨日の敵は今日の友ともいいます。相手を全滅させるような商売をしていけば、それは自分の首を絞めることにもなりかねません。人は愚かではないと信じています、必要なことは知恵を出して工夫をするということだと思います。

「戦わない」とは、どういった意味なのでしょう？まず戦うというのとはどういう意味なのかを調べてみると、1 武力を用いて互いに争つ。戦争する。2 互いに技量などを競い、勝負を争つ。競争

する。試合する。3 思想や利害の対立する者が互いが自分の利益や要求の獲得のために争つ。4 苦痛や障害を乗り越えろつとする。打ち勝つとつと努力する。5 互いにたたき合う。とのことです。

戦争と違い商売の場合は、必ずお客様がいらつしやいます。それぞれの会社でお客様に満足していただく方法は様々だと思ひます。お客様にたいして何をサービスできるか知恵を絞ってみましょう。5番目の「たたきあう」というのだけは避けなければいけませんね。

**一部価格変更のお知らせ**  
**VU100塩ビパイプのみ**  
6月～7月に値上する予定です。  
価格・時期など詳細については  
当社営業の金子が  
後日説明いたします。

**※値上げの知らせ※**  
**6月15日出荷分より、以下の通りライニング鋼管の価格を変更します**

規格	現在の仕切価格	6月15日からの仕切価格
VB15A	2,320円 →	2,834円
VB20A	2,577円 →	3,146円

※メーカー価格改定による。

**のんびり日記**  
のんびりとしていいのだろうか、という気がしますが、お隣の中国で大変なことが起つています。十二日に起きた四川地震です。今回の地震は阪神淡路のマグニチュードの6に対して、マグニチュード7.9なので、いろいろ計算すると6.9の倍のエネルギーと言つことになるそうです。（数式なので文字を横書にしています）三十倍以上のエネルギーが日本全体を襲つたようなものだとすうすうです。テレビなどで、子供を失つたお父さんの映像を見ると、同じ父親として胸が締め付けられます。今回と同じような地震が来ると、日本全部が同じような状況になるということでしょうか？

そう考えると、小学校や中学校などは、できるだけ平屋建てにしたほうがいいのではないかと、という気がします。コンクリートではなく、ゆれても「チャーン」にならないような、そういう建築がいいのではないかと思ひます。三階建て四階建ては、もちろん二階建てにもしないほうがいいのではないのでしょうか。そして地震が絶対に起きる国に住んでいる以上、対策を練つておかなければいけないと思ひます。高層ビルなんて建築してはダメだと思ひます。やはり日本には平屋建てかせいぜい二階建ての住宅におくほうが正解だと思ひました。中学校の建設と言えは伊倉地区の新しい分譲が始まりました。道路特定財源で川中地区の道路工事が補填されているそうです。ガソリン税云々の影響もあり、新しい中学校の建築が予定通りに行われたいケースもありそうです。

行政や役所は頼りにならない、という想いが日を追つと強くなつてきています。『国が何とかしてくれては』行政がなんとかしてくれては』と思つては、いつまでもたつてもダメなわけではないのでしょうか？仕事を頑張つて、お客様に感謝されるように「コソコソと地道にやつていくことしかできませんが、それが結局はすべてなのだと思ひます。会社のしているサービスが本当にお客様に必要なものであるのかどうかというの、誰にもわかりません。必要なものは存続できるだろうし、社会に必要なとされていなければ、消えていくだけだと思ひます。多くの会社さんが頑張つて仕事を続けています。だいじょうぶです、本当に必要なとされる、お客様に喜んでいただける仕事をしている、その自信を持って言うことができるなら、なんとかなるはずですよ。そして自社もそうであるように頑張つていきたいと思ひます。

金子商会 代表 金子義亮